

一般社団法人日本顎関節学会 2022 年度事業報告書

I. 目的（定款第3条）

本法人は、会員相互並びに国内外の関連団体との交流を深め、顎関節学に関する基礎的及び臨床的研究、教育及び診療についての会員の能力向上を図るとともに、それにより地域社会における口腔の健康の維持と向上に貢献し、もって国民の健康と福祉の増進に寄与することを会員共通の目的として、次の事業を行った。

- (1) 学術大会の開催に関する事業
- (2) 研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催
- (3) 機関誌、及びその他の出版物の刊行
- (4) 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する専門医等の各種資格認定事業
- (5) 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する研修機関等および研修制度の整備
- (6) 顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業
- (7) 顎関節疾患に関する調査並びに合同研究
- (8) 国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流
- (9) 顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業
- (10) 研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰
- (11) その他本法人の目的を達成するために必要な事業

II. 学術大会の開催に関する事業（定款第3条1項）

1. 第35回学術大会

- 1) 会期：2022年7月2日（土）～7月3日（日）
- 2) 形式：札幌市教育文化会館（現地およびwebのハイブリッド開催）
- 3) 大会長：山口泰彦（北海道大学大学院歯学研究院口腔機能学分野
冠橋義歯補綴学教室 教授）
- 4) 参加者：641名（会員556名、準6名、非会員67名、医療スタッフ9名、学生3名）
- 5) メインテーマ：「顎関節症：その多様性を理解する！」
- 6) 演題：
 - ①企画演題
特別講演 1 題
教育講演 1 題
シンポジウム 7 題
教育セミナー 2 題
日本顎関節外科研究会 共催企画セミナー 1 題
若手部会セミナー 1 題
歯科衛生士部会セミナー 1 題
委員会企画セミナー（診療ガイドライン作成委員会） 1 題
覚道健治賞（学術奨励賞最優秀賞）受賞講演 1 題
ハンズオンセミナー 2 題
 - ②一般演題
口演 21 題
ポスター 43 題

●特別講演

「人類進化における咬合と顎関節 特に縄文人と現代人の相違について」
座長：山口泰彦、講師：海部陽介

●教育講演

「小児の顎関節はどう見守っていくか」
座長：覚道健治、講師：田村康夫

●シンポジウム 1

「みんなで学ぶ顎関節症の鑑別診断 ー顎関節診療歯科医ドクターTー」

座長：栗田 浩、林 孝文

シンポジスト：

1. 構音障害、嚥下困難感を伴い閉口障害を呈した高齢患者 佐藤 淳
2. 自発痛を伴う閉口障害を有する患者の診断 土生 学
3. 特に閉口障害を有していた患者の診断結果 川尻秀一

パネリスト： 石丸智也、久根下紀香、松崎奈々香、宮園敬資、吉田一央、渡辺陽久

●シンポジウム 2 (日本口腔顔面痛学会 共催企画)

「米国 National Academies of Sciences, Engineering, and Medicine (NASEM) の TMD に関する Consensus Study Report についてーTMD の理解と治療における改善勧告ー」

座長：和嶋浩一

シンポジスト：

1. TMD の理解と治療における改善勧告の要約 大久保昌和
2. 本改善勧告レポートが出されるに至った米国の TMD の背景、および本レポートの影響
Charles S. Greene
3. 顎関節症：研究とケアのための優先課題 小見山 道

●シンポジウム 3 (臨床医の会 企画)

「顎関節症の病態分類別の治療戦略ー開業医は顎関節症患者にどう対処すれば良いか?ー」

座長：島田 淳、羽毛田 匡

シンポジスト：

1. 疼痛関連の顎関節症に対する運動療法・アプライアンス療法 島田 淳
2. 疼痛関連の顎関節症に対する薬物療法 澁谷智明
3. 顎関節円板障害（復位性）～顎関節（雑）音と運動障害～ 塚原宏泰
4. 顎関節円板障害（非復位性）～急性期・慢性期の対応および運動療法～ 羽毛田 匡
5. 変形性顎関節症ー考慮すべき点とその対応ー 佐藤文明

●シンポジウム 4

「咬合違和感症候群の診療フローチャート（2021）」の臨床応用について

座長：石垣尚一

シンポジスト：

1. 「咬合違和感症候群の診療フローチャート（2021）」の臨床応用について 和気裕之
2. ODS 患者の診療フローチャートの臨床応用に必要な知識と技術 玉置勝司

●シンポジウム 5

「ブラキシズム 24 hours（睡眠時・覚醒時ブラキシズムの検査・診断法）」

座長：山口泰彦

シンポジスト：

1. 睡眠時ブラキシズムの臨床における検査・診断法 三上紗季
2. 覚醒時ブラキシズムの検査と評価 藤澤政紀
3. ブラキシズムの顎運動から顎関節症リスクを考える 鈴木善貴

●シンポジウム6

「アプライアンス療法を掘り下げる

座長：皆木省吾

シンポジスト：

1. 病態に応じたアプライアンス療法の実際 佐久間重光
2. 補綴学的視点からアプライアンス療法を深掘りする 荒井良明

●シンポジウム7

「クローズドロック症例に対する外科的介入のタイミング」

座長：高橋 哲

シンポジスト：

1. クローズドロック症例に対する顎関節鏡視下手術の介入のタイミング 川上哲司
2. クローズドロック症例に対するパンピングマニピュレーションと
上関節腔洗浄療法の介入のタイミング 大井一浩

●教育セミナー1

「矯正治療中に顎関節症症状を訴えられたら：「Self-limiting」だけで対応できますか？」

座長：山田 一尋（あすなろ小児歯科医院 矯正歯科）

講師：

1. 矯正歯科治療中に生じた顎関節症への対応に求められるもの 谷本幸太郎
2. 矯正治療中に顎関節症症状を訴えられたら：
北海道矯正歯科学会会員に対するアンケート調査の結果を基にして 梶井貴史

●教育セミナー2（日本口腔顔面痛学会 共催企画）

「慢性疼痛の薬物療法」

座長：小見山 道、村岡 渡

講師：

1. 顎関節症の慢性疼痛に関する考え方 小見山 道
2. 顎関節症の慢性疼痛に対する薬物療法によるアプローチ 村岡 渡

●日本顎関節外科研究会 共催企画セミナー

「顎関節の画像診断と病理、特に治療法と外科的適応を巡って」

座長：大井一浩、村上賢一郎

講師：

1. 顎関節症と鑑別を要する顎関節疾患の画像診断 小林 馨
2. 顎関節の病理～口腔病理専門医の立場から～ 北村哲也
3. 滑膜軟骨腫症の診断と治療 儀武啓幸
4. 下顎頭骨軟骨腫・他 小木信美

●若手部会セミナー

「若手臨床医の考える顎関節研究のダイバーシティ～臨床と基礎～」

座長：佐藤 毅、高嶋真樹子

講師：

1. 自然発症型 変形性膝関節症モデル STR/Ort マウスにおける顎関節の病態評価 熊谷賢一
2. 遺伝子改変 STR/Ort マウスを用いた変形性顎関節症の病態解明と発症抑制の試み 大井一浩
3. 顎関節症患者のMRIにおける joint effusion 音成実佳
4. 過度なメカニカルストレスによる下顎頭吸収メカニズムの検討 矢野下 真
5. 顎関節症と睡眠時ブラキシズムの関係解明へ向けて 今後のアプローチへのヒント 斎藤未来

●歯科衛生士部会セミナー

「歯科衛生士が顎関節症の治療に関わる上での課題、問題点の解決に向けて
－会員アンケートからわかったこと－」

座長：島田 淳、佐藤文明

講師：

1. 歯科衛生士が顎関節症の治療に関わる上での課題、問題点の解決に向けて
－会員アンケートからわかったこと－ 澁谷智明
2. 2. 歯科医院勤務の歯科衛生士はどのように顎関節治療に関われるか
～その現状と課題～ 兜森彩日
3. 歯科衛生士が顎関節症治療に関わるうえでの課題 日高玲奈

●委員会企画セミナー 診療ガイドライン作成委員会

「顎関節症診療ガイドライン：改定に向けて・若手が作成に参加することについて」

座長：湯浅秀道、松香芳三

講師：

1. 本学会における顎関節症臨床診療ガイドライン作成の変遷 西山 暁
2. 顎関節症診療ガイドライン作成のためのアウトカムに関するスコーピングレビュー 大井一浩
3. 診療ガイドライン作成から見えた世界の潮流－スクリーニングを経験して－ 柏木美樹
4. 診療ガイドライン作成から学ぶ、臨床に直結するアウトカムとエンドポイントの考え方
山口賀大

●認定医セミナー（専門医等制度委員会、臨床医の会 共同企画）

「専門医制度における認定医取得のためのセミナー」

座長：高木律男

講師：日本顎関節学会認定医を取得しよう！ 塚原宏泰

●覚道健治賞（学術奨励賞最優秀賞）受賞講演

「パノラマX線画像による変形性顎関節症の診断における深層学習システムの有用性」

座長：佐々木啓一

講師：野澤道仁

●ハンズオンセミナー1

「DC/TMDの診断法－筋圧痛検査と関節痛誘発試験－」

座長：築山能大

インストラクター：

築山能大、小見山 道、有馬太郎、石垣尚一、島田明子、
西山 暁、原 節宏、大久保昌和、佐藤多美代、飯田 崇

●ハンズオンセミナー2

「ウェアラブル筋電計による睡眠時歯科筋電図検査」

座長：山口泰彦

インストラクター：

岡田和樹、三上紗季、斎藤未来、前田正名

III. 研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催（定款第3条2項）

1. 第55回学術講演会

開催日：2022年10月23日（日）

開催形式：web開催（zoom）

講師、講演内容

【一般開業医が歯科衛生士と治す顎関節症 -歯科衛生士との連携方法を知る-】

パート1：顎関節症とは何か？ -病態と原因を知る-

講師：小見山 道

パート2：どうやって顎関節症と診断するか？ -鑑別診断と実際の診察・検査法-

講師：澁谷智明

パート3：顎関節症の治療法を知ろう -プロフェッショナルケアとセルフケア-

講師：島田 淳

パート4：顎関節症と歯科衛生士 -歯科衛生士は何ができるか-

講師：日高玲奈、兜森彩日

パート5：歯科衛生士とどの様に連携するか？ -連携方法の実際-

講師：佐藤文明

参加者数：157名（会員121名、準会員7名、非会員6名、歯科衛生士19名、研修医4名）

2. 第56回学術講演会

開催日：2023年2月5日（日）

開催形式：web開催（zoom）

講師、講演内容

【顎関節症の鑑別診断コース -それ本当に顎関節症ですか？-】

（顎関節症との鑑別を要する各種疾患についての詳細解説）

パート1：顎関節症の病態分類と診断基準

講師：小見山 道

パート2：画像検査による顎関節症の鑑別診断

講師：松本邦史

パート3：顎関節症と鑑別が必要な疾患①（歯原性疾患：非歯原性歯痛を含む）

講師：内田貴之

パート4：顎関節症と鑑別が必要な疾患②（有痛性疾患：神経障害性疼痛と頭痛を中心に）

講師：村岡 渡

パート5：顎関節症と鑑別が必要な疾患③（口腔外科疾患）

講師：川上哲司

参加者数：145名（会員123名、非会員5名、研修医3名、暫定指導医14名）

IV. 機関誌、及びその他の出版物の刊行（定款第3条3項）

●日本顎関節学会雑誌：4回発行（うち1回は大会抄録集）

第34巻2号（2022年8月発行）

第34巻特別号（第35回学術大会号）（2022年6月発行）

第34巻3号（2022年12月発行）

第35巻1号（2023年4月発行）

V. 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する専門医等の各種資格認定事業 (定款第3条4項)

【新規認定】

<専門医および指導医>

2022年指導医、専門医試験を実施。

2022年11月6日(日)ステーションコンファレンス東京

11:00~12:00=記述試験、13:15~14:25=口頭試問

指導医1名、専門医5名を新たに認定。

<認定医>

●ポスタープレゼンテーション審査

実施日:2022年7月3日(日)

会場:札幌市教育文化会館3階 研修室302

受審者6名中6名を合格と判定した。

●講習会・筆記試験を2023年2月11日(土)10:30~17:00に実施。

会場:ステーションコンファレンス東京 ※暫定指導医も同時に実施

講習会内容

顎関節の臨床解剖(解剖・口腔外科) 儀武啓幸

顎関節の画像診断(歯科放射線科) 五十嵐千浪

DC/TMDに準拠した顎関節症の診察(補綴) 小見山 道

初期診療ガイドライン(補綴:スプリント療法、開口練習) 佐久間重光

認定医制度、専門医制度等の説明 栗田 浩、高木律男

筆記試験

受験者10名中8名を合格、2名を条件付合格と判定。

<暫定指導医>

2月11日の認定医講習会/試験と同時に実施し、受験者14名中11名を合格、3名を条件付合格と判定。

<研修機関>

新規に研修施設1施設を承認。

【更新認定】

2022年12月31日が認定期限となる方々の資格更新審査を実施。

<対象者および結果>

●専門医および指導医の両資格:

13名中12名が更新。内12名の更新を承認、1名は更新意思なし。

●指導医:1名中1名が更新し、その更新を承認。

●専門医:34名中31名が更新申請。26名の更新を承認。4名を保留。1名は条件未達成による不承認。3名は更新意思なし。

●暫定指導医:8名中5名が更新申請。内3名を承認。2名を保留。3名は更新意思なし。

●研修機関:16施設中13施設が更新申請。11施設の更新を承認。2施設を保留。3施設は更新意思なし。

●認定医:7名中7名が更新申請。4名の更新を承認。3名は保留。

VI. 顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業
(定款第3条6項)

VII. 顎関節疾患に関する調査並びに合同研究 (定款第3条7項)

VIII. 国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流 (定款第3条8項)

IX. 顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業 (定款第3条9項)
● 学術大会の運営

X. 研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰 (定款第3条10項)

● 令和4年度学会賞特別賞
小林 馨 (鶴見大学名誉教授)

● 令和4年度学術奨励賞・覚道健治賞 (最優秀賞)
受賞者名：高岡亮太 (大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座
クラウンブリッジ補綴学分野)
受賞論文名：顎関節症患者の臨床症状に対する咀嚼筋痛，顎関節円板動態異常，変形性
顎関節症の相対的影響度 (日本顎関節学会雑誌 33 巻 2 号)

● 令和4年度学術奨励賞・優秀賞
受賞者名：伊東宏和 (鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座)
受賞論文名：3DCT を用いた咀嚼筋腱・腱膜過形成症の評価に関する検討
(日本顎関節学会雑誌 33 巻 3 号)

XI. その他本法人の目的を達成するために必要な事業 (定款第3条11項)